子どもたちの輝く未来のために！

佐賀県教育センターニュース

ミネルバ

150号(平成27年度第16号)

平成28年3月1日発行

進化する！次年度研修講座（その１）　新設講座、「ワンセミ」「サタセン」

次年度も、学校・教職員の方々のニーズを捉えながら研修講座の運営に取り組んでいきます。今回は、新設講座と新たに始まる「ワンポイント出前セミナー」「サタデーセンター」について紹介します。

活力ある学校づくり

学校経営において、組織を機能させる校長のマネジメントについて理解を深めることができます。各学校の直面する様々な課題への対応力と、組織的な学校経営を推進する力を身に付け、校長としての専門的資質の向上を図ります。

対象　小学校・中学校・県立学校の校長・副校長

高等学校ミドルリーダー養成研修

学校を活性化するミドルリーダーの役割と任務について理解を深め、学校運営への参画意識を高めることをねらいとしています。組織力向上のために、学年主任として必要な課題解決能力を身に付けることを目指しています。

対象　高等学校の新任学年主任（該当者のみの悉皆研修）

キレやすい子供の理解と学校でのアンガーマネジメント講座

感情のコントロールが難しくキレやすい子供の理解を深め、対応について学ぶことができます。また、事例に基づく演習を通して、キレやすい子供の反応別の対応や場面に応じた具体的な支援について学ぶことができます。

対象　小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員

OneNote 講座

学校現場において、生徒への課題に配信や協働的な活動のツールとして活用されているOneNoteのソフトの構成、基本操作及び活用方法について学ぶことができます。実践発表を通して、具体的な活用事例を学ぶことができます。

対象　小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員

「ワンセミ」「サタセン」　*気軽に参加できる新しい形の研修です！*

ワンポイント出前セミナー（ワンセミ）

県内19か所において、午後3時から行う短時間の研修です。勤務校に近いところで、研修を受けることができます。教育センターで実施された講座のエッセンス等を90分でご紹介します。

例えば「ワンセミ小学校特別活動」では…

児童の立場に立って学級会オリエンテーションや学級会を体験することで、子供が自主的に進める学級会の指導の仕方を学ぶことができます。

時間	研修内容	方法
15:00～15:30	学級会オリエンテーションについて ・オリエンテーション資料の使い方 ・計画委員会の進め方 ・学級会ノートの作成の仕方	講義
15:30～16:30	学級会の指導の工夫 ・司会者グループへの指導 ・フォロアーへの指導 ・学級会における教師の役割	演習 協議

【小城市・玄海町で開催予定】

サタデーセンター（サタセン）

教育センターで土曜日に行う自主参加型の研修会です。２時間前後の時間で、授業づくりや指導法についての悩み相談、日頃の実践を基にした情報交換などを行う予定です。

小中国語科の「サタセン」をスタートします！

３月５日（土）、佐賀大学文化教育学部教授の達富洋二先生をお迎えして実施します。現在、追加申し込み受付中です！

【小学校】10:00～12:30
問い合わせ先：古川（研究調査担当　0952-62-5214）

【中学校】14:00～16:00
問い合わせ先：藤瀬（教育課程支援担当 0952-62-5238）

最終号（151号）の「進化する！次年度研修講座（その２）」では研修講座申し込みの変更点を掲載します。

佐賀県教育センター　〒840-0214　佐賀県佐賀市大和町大字川上　TEL 0952-62-5211(代)
Web ページ URL：http://www.saga-ed.jp/　「ミネルバ」については教育課程支援担当(直通 0952-62-5238)まで

「身近な教育センター」を目指しています～公開授業・出前講座～

「プロジェクト研究」授業改善研究委員会 小学校社会科部会の公開授業研究会

学校現場の先生方とセンター所員がチームで取り組む「プロジェクト研究」では、指導法改善の具体的な方策を取り入れた研究授業を、多くの先生方に公開し、参観者も交えての授業研究会を行いました。この公開授業研究会は３つの研究委員会、合計８校で開催しました。

そのうち、小学校社会科部会では、「学習状況調査の結果から見える課題の解決を図るための授業改善」をテーマに取り組み、今年度は県内３校（大浦小学校・相知小学校・若葉小学校）で公開授業を行いました。合わせて 44 名の方々にご参加いただきました。

○　今年度の研究成果は、他の研究委員会の取り組みを含めて３月に Web で公開します。
○　平成 28 年度は、小学校国語・算数・社会・道徳、中学校国語・数学・社会・英語・道徳で公開授業研究会を計画しています。

若葉小６年生での公開授業では…

森田教諭が、単元「新しい日本、平和な日本へ」（全７時）の１時目で、単元を貫く学習問題を設定する授業を行いました。戦後の写真資料を提示し、教師と児童とのやりとりを通して、児童の疑問や発言を大切にしながら、「終戦から 20 年日本はどのようにして発展してきたのだろう。」という問いを共につくりあげました。児童が主体的に問題解決的な学習に取り組む提案となりました。

写真資料の提示と発問

＜参加者の声＞
・学習問題を子供と共に考えることの大切さが分かった。資料を有効に活用しながら、児童が分かる喜びを感じるような授業をしていきたい。
・問題解決的な学習について「こういう授業を目指せばよいのか」とイメージすることができ、大変貴重な経験になった。

授業研究会

「理サポ」公開授業研究会

呼子小藤田教諭の授業

「理科力向上サポート事業」の公開授業研究会を、今年度も県内の小中学校 10 校（小学校５校・中学校５校）で行いました。事象提示や言語活動を取り入れた共通の学習モデルに沿った理科の授業について公開授業の形で提案し、その後、参加された先生方と共に「科学的な思考力・表現力の育成を目指した授業づくり」について協議を行いました。参加者は 227 名（小学校 138 名、中学校 89 名）にのぼり、それぞれの会場で校種の枠を超えた熱い研究協議がなされました。

神野小での授業研究会

＜参加者の声＞
・事象提示・関係していること等、授業の組み立てが大変参考になった。生徒の意欲が高まった状態で実験ができるように、全体の流れを考えなければならないと思った。
・小・中・高の系統性についての話がとても勉強になった。

○　今年度までの取り組みについては、Web をご覧ください。
http://www.saga-ed.jp/chouken/rikasaport/risapotop.html
○　理サポ事業については平成 28 年度も継続して行います。次年度の公開授業研究会でも多くの参加をお待ちしています！

出前講座「学習状況調査の分析・活用」

活発な議論がなされたグループ協議

12 月に実施した佐賀県小・中学校学習状況調査結果の分析・活用のための出前講座を県内３会場で実施しました。３会場の定員 90 名を超える 102 名の先生方に参加していただきました。講座では、参加された先生方の自校のデータを実際に分析する演習に取り組んでもらいました。また、自校の成果と課題を踏まえ、「授業における指導の工夫」「授業外における指導の工夫」「家庭学習の工夫」のテーマでグループに分かれて、熱心な協議がなされました。

＜参加者の声＞
・学力向上に向けての校内研修を行う予定なので、他の職員にも伝え、全校で取り組みたいと思う。
・他校の先生方と話し合い、同じような課題があることが分かった。また、他校種の先生方と話し合うことで、新しい情報が見つかり、有意義な会になった。

［４月調査］の分析・活用講座の予定について

期日	対象
6月10日（金）	東部教育事務所管内各学校
6月16日（木）	西部教育事務所管内各学校

※会場はいずれも教育センターです。
※期日の都合がつかない場合には、対象以外の日の受講も可能です。

ア・ラ・カルト ～「道徳科」講演会、おすすめ図書～

どうなる？「道徳科」～その「指導と評価」について考えました～

講演される柳沼先生

２月４日（木）、岐阜大学大学院教育学研究科准教授の柳沼良太先生を招いて小・中学校道徳教育公開講座特別講演会を行いました。柳沼先生は次期中学校学習指導要領改訂の委員としてご活躍されています。小学校は平成 30 年度、中学校は平成 31 年度から、検定教科書を導入して「道徳科」を全面実施することになっています。平成 27 年７月に文部科学省より示された「学習指導要領解説　特別の教科　道徳編」において問題を解決する資質としての道徳性を育成することの重要性が述べられています。

講演では、問題解決的な学習の展開についての授業例を示していただき、具体的なイメージをもつことができました。また、「認知的、情意的、行動的側面をバランスよく育成することが大切である」という言葉がとても印象に残りました。評価についても多面的、継続的に把握するために必要なことを示唆していただき、「道徳科」の授業の一つの方向性が見える良い機会となりました。

約 120 名の参加者で満席となった大研修室

※当日いただいた資料とほぼ同様のものが文部科学省 HP に掲載されています。
ご参加いただけなかった方は、以下のリンクからご覧ください。
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/111/shiryo/1360735.htm

所員の「おすすめ図書」

今年度最後の「おすすめ図書」の紹介は、主に高校の先生方向けの図書を紹介します。

高校教育とアクティブ・ラーニング

『すぐわかる！できる！アクティブ・ラーニング』（西川　純／学陽書房）

今や、教育改革は社会で“生きる力”を軸に、大学教育だけでなく、高校教育にも大きな変革が求められています。そのキーとなるのが「アクティブ・ラーニング」です。「そもそもアクティブ・ラーニングって何？」と今さら聞けないということもあるのではないでしょうか。この本は、そんな“そもそも”に正面から向き合ってくれ、また、アクティブ・ラーニングを実現可能なものと思わせてくれる本です。教科に特化しない概念的な話でありながら、“例えば”と具体的な事例を盛り込んであり、授業実践からの生徒の評価・感想、教師からのコメントも掲載してあります。アクティブ・ラーニングを始める前に、まず読んでみたい一冊です。（情報課長　土井　一生）

教材研究に生かせる数学の名著

『零の発見－数学の生い立ち－』　（吉田洋一／岩波新書）

1939年に出版され、今なお読み継がれている名著です。数学の本ですが、難しい数式はほとんどなく読み物として書かれています。この本には、インド人が発見した零がどのようにして伝わっていったのかが書かれています。また、我々が当たり前のように使っている位取りによる数字の表記がいかに偉大な発明だったのかを実感することができます。単に読み物としてだけでなく、教材研究のヒントを多く見付けることができる本です。

（短期研修担当　梶原　俊夫）

今年度も図書資料室をご利用いただき、ありがとうございました。本年度は約 1300 冊の貸し出しがあり、多くの先生方に来室していただきました。図書資料室には、教育関係の様々な書籍、資料、雑誌等を揃えています。今後も、どうぞお気軽にご利用ください。

図書資料室の利用方法

「ミネルバ」139 号 p. 4

図書資料室のカーテンが新しくなりました。明るい日差しが差し込んでいます。

「図書資料室」に関することは・・・教育課程支援担当へ　0952-62-5238（直通）